

とハムシダマシ亜科を含む合計 464 種になった。著者らはこの数字を語んじてヨイムシと洒落ているが、それも当を得ているというのが率直な私の感想である。完璧な図鑑の出版は、虫の価値まで高めてくれるものらしい。

ゴミムシダマシに多少の苦手意識のあった方々も、これを機会にこの虫により親しんでみてはいかがだろうか。もっとも日本産の標本の重要など

ころは目下、著者らの手元に集結していると推察するから、比較する標本自体が虫屋世間に不足しているに違いない。であれば、本書を傍らに新しく標本を採集して歩くのも、それはまた私たち甲虫愛好家にとって、極上の楽しみではなからうか。

(株式会社 環境指標生物・新里達也)

【短報】トヨハシヒメカタゾウムシの生息環境について

トヨハシヒメカタゾウムシ *Arrhaphogaster inouei* Morimoto, 2015 は、近年愛知県豊橋市より記載された種で、これまでは近似のケブカヒメカタゾウムシ *A. pilosa* Roelofs, 1873 と同定されていたものである(伊澤ら, 2009)。本種は豊橋市の石巻山およびその周辺の豊川岸など豊川水系周辺のみで、4~5月にかけて散発的に採集されていること以外、生態的知見は知られていない(伊澤, 2009; Morimoto *et al.*, 2015)。また、本種の既知産地は豊橋市に集中しているが、豊川水系上流に位置する愛知県北設楽郡設楽町からもケブカヒメカタゾウムシの記録があり(穂積, 1990)、この標本も本種である可能性が高い。

同属の他種がおもにスギやヒノキの植林地内やその周辺で採集されていることから(Kojima, 2014)、トヨハシヒメカタゾウムシの模式産地ならびにその周辺と同様な環境で調査を行ったところ、本種も類似の環境に生息していることが明らかとなったので報告する。本種は同属他種と同様、ウツギ属やアジサイ属(アジサイ科)、ムラサキシキブ属(シソ科)、フジ(マメ科)、コクサギ(ミカン科)、イヌビワ(クワ科)、ヒサカキ(モッコク科)、アオキ(アオキ科)やエノキ、ケヤキ(ニレ科)、クマノミズキ(ミズキ科)の幼木など、植林地内の各種灌木から得られた。また、本属の種は植林地内でも沢などに隣接し、ある程度湿度が保たれた環境で得られることが多いが、本種もそのような環境で得られやすかった。さらに、これまでの採集記録は4月下旬から5月のようだが、6月に得られた標本を所持しているので、あわせて報告しておく。

検視標本: 3 exs., 豊橋市石巻山, 16.vi.2013; 10 exs., 同所, 12.v.2016; 3 exs., 豊橋市石巻町神郷, 29.iv.2016; 4 exs., 同所, 12.v.2016; 12 exs., 豊橋市嵩山蛇穴, 29.iv.2016; 14 exs., 同所, 13.v.2016。(すべ

て小島採集)。

今回は時間の都合で、針葉樹植林地とその周辺環境のみの調査しか行っていないが、針葉樹植林地に接していない広葉樹二次林内などの環境でも本種が生息するかどうか今後確認する必要がある。本属の種は過去の古い記録を除くと、東京、千葉、神奈川、静岡、伊豆諸島など関東地方とその周辺に分布し(Morimoto *et al.*, 2015)、愛知県から記載されたトヨハシヒメカタゾウムシは本属の西限種となる。また、前述の通り、本種の確実な産地は現状では豊橋市のみであるが、その他の周辺地域を含めた調査が望まれる。豊橋市に隣接する静岡県浜松市では、佐鳴湖においてケブカヒメカタゾウムシの記録があり(加藤ら, 2008)、とくに浜松市をはじめ静岡県西部での調査が望まれるとともに、両種の分布状態を明らかにする上で、静岡県中央地域での調査も望まれる。

なお、本調査は一部日本学術振興会科学研究費補助金(課題番号 15K06937)の助成を受けて行われた。

引用文献

- 伊澤和義, 2009. 愛知県のゾウムシ類標本リスト. http://www.ob.aitai.ne.jp/~k_izawa/zou/aichi/aichi.htm (2016年10月21日閲覧)。
 伊澤和義・井上昌次・白井勝巳, 2009. 愛知県のゾウムシ類. 地域甲虫自然史 (5), 70 pp., 8 pls. 日本甲虫学会, 大阪。
 穂積俊文, 1990. 愛知県の甲虫類 (I). 愛知県の昆虫 (上): pp. 232-308. 愛知県昆虫分布研究会, 愛知県。
 加藤 徹・多比良嘉晃・塩澤靖弘, 2008. 佐鳴湖周辺の昆虫相. pp. 470-523. In 静岡県産業部振興局研究調整室編, 「快適空間『佐鳴湖』の創造」研究報告書: 静岡県戦略課題研究, 579 pp., 静岡県。
 Kojima, H., 2014. Occurrence of a celeuthetine weevil, *Arrhaphogaster hachijoensis* (Coleoptera, Curculionidae) in the Izu Peninsula, Honshu, Japan. *Elytra*, Tokyo, (n. s.), 4: 155-158.
 Morimoto, K., T. Nakamura & K. Kannô, 2015. The Insects of Japan, 4. Curculionidae: Entiminae (Part 2) (Coleoptera). 758 pp., 120 pls., Touka Shobo, Fukuoka.

(小島弘昭・林本真幸 東京農業大学昆虫学研究室)